

＜本郷キャンパス＞

学校法人文京学園
文京学院大学外国語学部・経営学部・
人間学部・保健医療技術学部／大学院／
文京学院大学学生生涯学習センター
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1
☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816
文京学院大学文京幼稚園
〒113-0023 東京都文京区向丘 2-4-1
☎幼 03-3813-3771

＜ふじみ野キャンパス＞

文京学院大学人間学部・保健医療技術学部
／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806
＜駒込キャンパス＞
文京学院大学女子高等学校／文京学院
大学女子中学校
〒113-8667 東京都文京区本駒込 6-18-3
☎03-3946-5301

文京学院



令和3年(2021年)

2月28日

第765号

発行
学校法人文京学園
http://bgu.ac.jp

中高

「富士賞授与式」厳粛に

本校では、創立者・島田依史先生と二代目学園長・島田和幸先生の遺志を受け継ぎ、中高全校生徒の模範となる生徒を表彰する「富士賞」授与式を、依史先生誕生月の2月に行っています。

今回は、日々の学びを深め、国内外での発表で成果を上げた生徒や、地道なボランティア活動を継続した生徒など広範囲での活動が認められ、多くの生徒が受賞対象となりました。

第56回「富士賞」授与式が2月12日、駒込キャンパス・ジャシーホールで執り行われました。

依史先生の在りし日の姿がスクリーンに投影され、生徒に語り掛ける声が放送された後、司会進行の高石和人中高一貫部副校長が「富士賞」について説明。

表彰式では、島田輝子学園長が受賞者一人ひとりに賞状を、水上茂中高一貫部校長と清水直樹高等部校長が副賞を授与しました。受賞者は次の皆さんです（対象は3年生／敬称略）。

【総合部門】「人として豊かな心を持ち、周囲からの人望も厚く、本校の校訓で

ある誠実・勤勉・仁愛の精神を体現した生徒」

★中学Ⅱ大越美潤（菊）、吉田実桜（菊）、石原明日香（桃）、箕浦祐璃（栗）

★高校Ⅱ中野ユリア（梅）、齋藤萌彩（安井景都（桜）、伊藤まり（藤）、長濱すず（藤）、草野那月（梅）、伊藤朱里（秋）、翁萌子（秋）、池田幸奈（杉）、齋藤のか（杉）、若林美空（杉）

★課外活動部門 個人Ⅰ課外活動において、その活動が顕著であった生徒」

★中学Ⅱ酒井愛美香（桃）、中学生徒会、中島香蓮（菊）、中学生徒会、山本杏香（桃）、中学生徒会、伊東李々花（菊・ソフトテニス部）

★中学サッカー部（全日本女子U15選手権大会東京都予選ベスト8、東京都女子サッカーリーグU15 2部4位）代表Ⅱ石渡日菜（桃）、磯崎真帆（菊）、岩崎柚希（菊）、木村櫻子（菊）、鈴木杏彩（菊）、須藤庵（菊）、小嶋菜菜（桃）、原根子（桃）、芳川七海（桃）、新井来夢（栗）、糸賀怜風（栗）、加藤奈月（栗）、高橋若葉（栗）、宮崎真由（栗）

★中学新体操部（2019年春季団体戦、同年関東大会東京都予選、同年学年別新人大会、同年テレビ信州杯クラブカップ選手権団体の部出場等）代表Ⅱ小巖の

さ（桃）、大越美潤（菊）、郷家真緒（菊）、榎詩音（桃）、大槻陽菜（桃）

★中学ソフトテニス部（文京区夏季大会3年連続優勝、平成30年度東京都新人大会ベスト16、令和元年度東京都総合体育大会ベスト32、令和元年度東京都私立大会3位、令和元年度東京都私立大会団体戦準優勝）代表Ⅱ児玉日向子（菊）、深井珈奈（菊）、伊東李々花（菊）

★高校バレーボール部（春の高校バレー東京都大会優勝、春の高校バレー全国大会出場）代表Ⅱ高橋美鈴（杉）、久我綾乃（藤）、石中凛（杉）、木内寧音（杉）、坂井里佳子（杉）、佐藤仁美（杉）、田中希美（杉）、土田優直（杉）、外崎友花（杉）、村山華音（杉）、山崎菜（杉）、若林美空（杉）

★高校サッカー部（全日本高等学校女子サッカー選手権大会東京都予選ベスト8）代表Ⅱ酒匂桃佳（杉）、丹野伶菜（桜）、江部美来（杉）、内藤優月（杉）、池田幸奈（杉）

★高校新体操部（東京都高等学校新体操関東大会予選、東京都インターハイ予選、東京都高等学校新体操秋季新人戦、東京都高等学校新体操種目別大会、アザレアカップ、コラフェスタ、飛行船カップ団体戦・個人戦出場）代表Ⅱ高橋ひよ（杉）、中野ユリア（梅）、島田夏実（桜）、翁萌子（秋）、齋藤のか（杉）、佐藤百香（杉）、似鳥希早（杉）、吉田唯香（杉）

★高校ソフトテニス部（9名全員が東京都のシード権を獲得し、上位ペアはベスト16入り。東京都選抜インドア大会団体戦5位、地区大会で全員が予選勝利しベスト16入り）代表Ⅱ三ツ木千花子（杉）、児玉菜々子（楓）、酒井実奈子（楓）、江原萌乃佳（杉）、加藤杏実（杉）、佐々木涼葉（杉）、榎絢香（杉）、田中美玲（杉）、溝上綾花（杉）

★高校ソフトボール部（江東地区高等学校ソフトボール大会4位、稲葉杯研修大会優勝、インターハイ東京都予選ベスト16）代表Ⅱ等原菜月（梅）、田中葉（藤）、橋本彩音（藤）、前野あかり（藤）、中村綾乃（秋）、石井彩陽（杉）

★高校カラーガード部（関東カラーガードコンテスト2019金賞、全国高等学校ダンスドリル選手権大会関東大会1位、2019年全国大会2位、2019 Japan Cup 全国大会優勝、第3回カラーガード・マーチングパレード・シン・全国大会 銀賞）代表Ⅱ天野芽唯（梅）、内海瑠風（楓）、湯浅未結（楓）

★高校生徒会（生徒会総務役員として職務を完遂。文女祭で本部運営を円滑に行い、季節を通して学校生活が潤う活動を推進。休校期間中にホームページでメッセージを発信し、新入生に配慮）代表Ⅱ吉川花音（桜）、菅沼美音（梅）、伊藤朱里（秋）

★学校説明会ボランティア（1年次より2年間、休日の学校説明会等の事前準備から当日の受験生の誘導・校内案内を積極的に行い）代表Ⅱ藤平貴衣（桜）、岡村雅心花（楓）、紺野真奈佳（楓）、坂野李麗（楓）、竹原沙羅（楓）、藤野香月（楓）、杉山里芽里（梅）、名波綾花（梅）、保浦幸佳（藤）、鬼沢理理（梅）、草野那月（梅）、菅沼美音（梅）、横田未翔（梅）、山崎香澄（杉）

★アジア研究（平成30年度・令和元年度アジア研究のメンバーとして1年間にわたり研究継続。ポスター発表、プレゼンテーション発表を経て、年度末に論文を完成）代表Ⅱ岩本真結（梅）、杉山里芽里（梅）、小堀未玖（梅）、齋藤萌彩（梅）、安井景都（梅）、里萌音（藤）

★SAGE JAPAN「The Hungry」(第6回SAGE JAPAN CUPに出場し、審査員特別賞受賞)代表Ⅱ齊木奈々（梅）、澤登あすか（梅）、須貝沙紀（梅）、松尾美亜（香）、成田彩葉（藤）

★タイ科学交流プログラム（準備期間において、1年間研究を行いながら各種研究大会に参加し、多岐にわたる分野での研究交流を実施。活動の記録をまとめ、次学年に伝授。理数キャリアクラスの群を抜いた活動実績）代表Ⅱ内山かれん（梅）、浅野楓（梅）、鬼沢理理（梅）、金桃菜（梅）、篠田知佳（梅）、豊田珠李（梅）、野崎舞（梅）、中村佑芽（梅）、河孝陽（梅）、森本佳依（梅）、井上唯秋（梅）、峰岸万里奈（秋）

★本習学精励賞（対象は全学年）

600枚提出者（中学・高校合計402名）

専・校内案内を積極的に行い、代表Ⅱ藤平貴衣（桜）、岡村雅心花（楓）、紺野真奈佳（楓）、坂野李麗（楓）、竹原沙羅（楓）、藤野香月（楓）、杉山里芽里（梅）、名波綾花（梅）、保浦幸佳（藤）、鬼沢理理（梅）、草野那月（梅）、菅沼美音（梅）、横田未翔（梅）、山崎香澄（杉）

★中学代表Ⅱ豊住優香（3要）★高校代表Ⅱ小川真由（3校）6年間提出

【清書テスト優秀者】（600枚提出者対象）

★中学代表Ⅱ安藤和佳乃（3校）★高校代表Ⅱ中里優梨香（中野律音、橋本心花、松村華乃音、山内心優）

★関口華菜美（栗）★小笠原絢音、兼子智世、高瀬彩来

【F2】★菊Ⅱ犬伏真優、金子夏佳、西村瑠理、宮川紗良★栗Ⅱ鏡妃順、杉谷紗永【F3】★菊Ⅱ安藤和佳乃、池上桜香、中島香蓮

★花見優希、福原さえ、吉田かりな、吉田実桜★桃Ⅱ石原明日香、植野葵、酒井愛美香、下島夕奈、吉田朱璃★栗Ⅱ喜入花音、南花隠、箕浦祐璃、宮崎真由

★高校代表Ⅱ田村佳歩（3校）★楓Ⅱ倉石菜名、梅Ⅱ小林涼華★藤Ⅱカリーン紗奈★梅Ⅱ赤羽結子、古屋璃瀬、吉田風香★秋Ⅱ山崎双葉★杉Ⅱ杉谷遥華、田中実優、角田莉彩、諸田亜香

★高2★楓Ⅱ上野朝香、竹葉万枝、松代侑里香★梅Ⅱ小宮夕佳★藤Ⅱ森屋美咲★梅Ⅱ市川絵摩、加藤真尋、佐々木彩香★秋Ⅱ秋野桃子、三浦叶夢★杉Ⅱ加藤美来、廣田あい【高3】★梅Ⅱ齊木奈々子、田村佳歩★桜Ⅱ伊藤楓、小川真由、安井景都★藤Ⅱ保浦幸佳★杉Ⅱ似鳥希早、馬場愛花

★本習学精励賞特別表彰（敬称略）★保護者・家族Ⅱ庄子希美子、中西梨桃、宮島佳奈、加藤陽子、大谷弥生、陣内あずみ、菅間智子、坂本智世、石橋りか★教員Ⅱ高石和人（31回目）、岩倉寛樹（8回目）、熊田真紀（6回目）

島田学園長から表彰される生徒



第56回「富士賞」授与式が2月12日、駒込キャンパス・ジャシーホールで執り行われました。

依史先生の在りし日の姿がスクリーンに投影され、生徒に語り掛ける声が放送された後、司会進行の高石和人中高一貫部副校長が「富士賞」について説明。

表彰式では、島田輝子学園長が受賞者一人ひとりに賞状を、水上茂中高一貫部校長と清水直樹高等部校長が副賞を授与しました。受賞者は次の皆さんです（対象は3年生／敬称略）。

【総合部門】「人として豊かな心を持ち、周囲からの人望も厚く、本校の校訓である誠実・勤勉・仁愛の精神を体現した生徒」

★中学Ⅱ大越美潤（菊）、吉田実桜（菊）、石原明日香（桃）、箕浦祐璃（栗）

★高校Ⅱ中野ユリア（梅）、齋藤萌彩（安井景都（桜）、伊藤まり（藤）、長濱すず（藤）、草野那月（梅）、伊藤朱里（秋）、翁萌子（秋）、池田幸奈（杉）、齋藤のか（杉）、若林美空（杉）

★課外活動部門 個人Ⅰ課外活動において、その活動が顕著であった生徒」

★中学Ⅱ酒井愛美香（桃）、中学生徒会、中島香蓮（菊）、中学生徒会、山本杏香（桃）、中学生徒会、伊東李々花（菊・ソフトテニス部）

★中学サッカー部（全日本女子U15選手権大会東京都予選ベスト8、東京都女子サッカーリーグU15 2部4位）代表Ⅱ石渡日菜（桃）、磯崎真帆（菊）、岩崎柚希（菊）、木村櫻子（菊）、鈴木杏彩（菊）、須藤庵（菊）、小嶋菜菜（桃）、原根子（桃）、芳川七海（桃）、新井来夢（栗）、糸賀怜風（栗）、加藤奈月（栗）、高橋若葉（栗）、宮崎真由（栗）

★中学新体操部（2019年春季団体戦、同年関東大会東京都予選、同年学年別新人大会、同年テレビ信州杯クラブカップ選手権団体の部出場等）代表Ⅱ小巖のさ（桃）、大越美潤（菊）、郷家真緒（菊）、榎詩音（桃）、大槻陽菜（桃）

★中学ソフトテニス部（文京区夏季大会3年連続優勝、平成30年度東京都新人大会ベスト16、令和元年度東京都総合体育大会ベスト32、令和元年度東京都私立大会3位、令和元年度東京都私立大会団体戦準優勝）代表Ⅱ児玉日向子（菊）、深井珈奈（菊）、伊東李々花（菊）

★高校バレーボール部（春の高校バレー東京都大会優勝、春の高校バレー全国大会出場）代表Ⅱ高橋美鈴（杉）、久我綾乃（藤）、石中凛（杉）、木内寧音（杉）、坂井里佳子（杉）、佐藤仁美（杉）、田中希美（杉）、土田優直（杉）、外崎友花（杉）、村山華音（杉）、山崎菜（杉）、若林美空（杉）

★高校サッカー部（全日本高等学校女子サッカー選手権大会東京都予選ベスト8）代表Ⅱ酒匂桃佳（杉）、丹野伶菜（桜）、江部美来（杉）、内藤優月（杉）、池田幸奈（杉）

★高校新体操部（東京都高等学校新体操関東大会予選、東京都インターハイ予選、東京都高等学校新体操秋季新人戦、東京都高等学校新体操種目別大会、アザレアカップ、コラフェスタ、飛行船カップ団体戦・個人戦出場）代表Ⅱ高橋ひよ（杉）、中野ユリア（梅）、島田夏実（桜）、翁萌子（秋）、齋藤のか（杉）、佐藤百香（杉）、似鳥希早（杉）、吉田唯香（杉）

★高校ソフトテニス部（9名全員が東京都のシード権を獲得し、上位ペアはベスト16入り。東京都選抜インドア大会団体戦5位、地区大会で全員が予選勝利しベスト16入り）代表Ⅱ三ツ木千花子（杉）、児玉菜々子（楓）、酒井実奈子（楓）、江原萌乃佳（杉）、加藤杏実（杉）、佐々木涼葉（杉）、榎絢香（杉）、田中美玲（杉）、溝上綾花（杉）

★高校ソフトボール部（江東地区高等学校ソフトボール大会4位、稲葉杯研修大会優勝、インターハイ東京都予選ベスト16）代表Ⅱ等原菜月（梅）、田中葉（藤）、橋本彩音（藤）、前野あかり（藤）、中村綾乃（秋）、石井彩陽（杉）

★高校カラーガード部（関東カラーガードコンテスト2019金賞、全国高等学校ダンスドリル選手権大会関東大会1位、2019年全国大会2位、2019 Japan Cup 全国大会優勝、第3回カラーガード・マーチングパレード・シン・全国大会 銀賞）代表Ⅱ天野芽唯（梅）、内海瑠風（楓）、湯浅未結（楓）

★高校生徒会（生徒会総務役員として職務を完遂。文女祭で本部運営を円滑に行い、季節を通して学校生活が潤う活動を推進。休校期間中にホームページでメッセージを発信し、新入生に配慮）代表Ⅱ吉川花音（桜）、菅沼美音（梅）、伊藤朱里（秋）

★学校説明会ボランティア（1年次より2年間、休日の学校説明会等の事前準備から当日の受験生の誘導・校内案内を積極的に行い）代表Ⅱ藤平貴衣（桜）、岡村雅心花（楓）、紺野真奈佳（楓）、坂野李麗（楓）、竹原沙羅（楓）、藤野香月（楓）、杉山里芽里（梅）、名波綾花（梅）、保浦幸佳（藤）、鬼沢理理（梅）、草野那月（梅）、菅沼美音（梅）、横田未翔（梅）、山崎香澄（杉）

★アジア研究（平成30年度・令和元年度アジア研究のメンバーとして1年間にわたり研究継続。ポスター発表、プレゼンテーション発表を経て、年度末に論文を完成）代表Ⅱ岩本真結（梅）、杉山里芽里（梅）、小堀未玖（梅）、齋藤萌彩（梅）、安井景都（梅）、里萌音（藤）

★SAGE JAPAN「The Hungry」(第6回SAGE JAPAN CUPに出場し、審査員特別賞受賞)代表Ⅱ齊木奈々（梅）、澤登あすか（梅）、須貝沙紀（梅）、松尾美亜（香）、成田彩葉（藤）

★タイ科学交流プログラム（準備期間において、1年間研究を行いながら各種研究大会に参加し、多岐にわたる分野での研究交流を実施。活動の記録をまとめ、次学年に伝授。理数キャリアクラスの群を抜いた活動実績）代表Ⅱ内山かれん（梅）、浅野楓（梅）、鬼沢理理（梅）、金桃菜（梅）、篠田知佳（梅）、豊田珠李（梅）、野崎舞（梅）、中村佑芽（梅）、河孝陽（梅）、森本佳依（梅）、井上唯秋（梅）、峰岸万里奈（秋）

★本習学精励賞（対象は全学年）

600枚提出者（中学・高校合計402名）

専・校内案内を積極的に行い、代表Ⅱ藤平貴衣（桜）、岡村雅心花（楓）、紺野真奈佳（楓）、坂野李麗（楓）、竹原沙羅（楓）、藤野香月（楓）、杉山里芽里（梅）、名波綾花（梅）、保浦幸佳（藤）、鬼沢理理（梅）、草野那月（梅）、菅沼美音（梅）、横田未翔（梅）、山崎香澄（杉）

★中学代表Ⅱ豊住優香（3要）★高校代表Ⅱ小川真由（3校）6年間提出

【清書テスト優秀者】（600枚提出者対象）

★中学代表Ⅱ安藤和佳乃（3校）★高校代表Ⅱ中里優梨香（中野律音、橋本心花、松村華乃音、山内心優）

★関口華菜美（栗）★小笠原絢音、兼子智世、高瀬彩来

【F2】★菊Ⅱ犬伏真優、金子夏佳、西村瑠理、宮川紗良★栗Ⅱ鏡妃順、杉谷紗永【F3】★菊Ⅱ安藤和佳乃、池上桜香、中島香蓮

★花見優希、福原さえ、吉田かりな、吉田実桜★桃Ⅱ石原明日香、植野葵、酒井愛美香、下島夕奈、吉田朱璃★栗Ⅱ喜入花音、南花隠、箕浦祐璃、宮崎真由

★高校代表Ⅱ田村佳歩（3校）★楓Ⅱ倉石菜名、梅Ⅱ小林涼華★藤Ⅱカリーン紗奈★梅Ⅱ赤羽結子、古屋璃瀬、吉田風香★秋Ⅱ山崎双葉★杉Ⅱ杉谷遥華、田中実優、角田莉彩、諸田亜香

★高2★楓Ⅱ上野朝香、竹葉万枝、松代侑里香★梅Ⅱ小宮夕佳★藤Ⅱ森屋美咲★梅Ⅱ市川絵摩、加藤真尋、佐々木彩香★秋Ⅱ秋野桃子、三浦叶夢★杉Ⅱ加藤美来、廣田あい【高3】★梅Ⅱ齊木奈々子、田村佳歩★桜Ⅱ伊藤楓、小川真由、安井景都★藤Ⅱ保浦幸佳★杉Ⅱ似鳥希早、馬場愛花

★本習学精励賞特別表彰（敬称略）★保護者・家族Ⅱ庄子希美子、中西梨桃、宮島佳奈、加藤陽子、大谷弥生、陣内あずみ、菅間智子、坂本智世、石橋りか★教員Ⅱ高石和人（31回目）、岩倉寛樹（8回目）、熊田真紀（6回目）

人間学部
学部長・教授

花島香代



2020年度はコロナ禍

の中での教育活動となりま

した。教員も初めて遠隔授

業に取り組みむことに

なり、手探りの状態

でした。学部では原

則としてオンデマン

ド授業（授業動画や

資料等の配信を行い、

学生が学習して課題

を提出する等で行う

授業）を中心として

展開しました。そこ

で、FD（Faculty

Development：大学

教員の教育能力を高

めるための実践的方

法）研修会では遠隔

授業をテーマに教員

間で情報交換、授業

方法の改善に取り組

みました。2020

年度前期の学生によ

る授業アンケートで

は満足度が高く、オ

ンデマンド授業は評

判が悪いと言われる

中、教員の努力が実

った形となりました。

その理由についてFD

研修会の議論をも

とに分析してみたい

と思います。

一つ目は、教員が

遠隔授業の制約の中

でも、これまでの授

業を取り扱ってきた

内容が実現できるよう工夫

したこと。実技、実験

ソフトウエアを導入したり、自宅でも経験できるような内容を紹介したりするなど学習意欲を維持できるように配慮しました。

二つ目は、学生とのつながりを大切にしたこと。学生からの質問にはできるだけ早く返信する、情報機器活用についての働きかけを解消できるよう支援する、課題のフィードバック等が共有できるよう配慮をし、孤独感を軽減するなどの方法をとっていました。

三つ目は、教員が主体的に授業改善に取り組んだことです。FD研修会では質問や意見が多く出され、活発に議論が行われました。海外や首都圏以外に在住の講師等との交流を行うなど、オンラインならではの利点を活用した授業なども紹介され、今後の発展の可能性も感じることができました。

次年度は、対面授業を原則としながら効果的な授業方法を模索していきます。人間学部は対人援助職をめざす学生も多いので、「リアル」に人とかかわることを通して学ぶことも重要です。対面授業実施に更に質の高い教育をめざせるでしょう。健康管理を行い、お互いを守りながら充実した学生生活を送れるように配慮していきたいと思

Green Spirits

教育力向上をめざして
～新たな教育方法の模索～

中学「英語暗唱コンテスト」で英語力発揮

2月12日、駒込キャンパス・ジャシーホールで「第59回英語暗唱コンテスト」が行われました。宮川紗良第40期生徒会会長(2菊)の挨拶で開会し、予選を勝ち抜いた24名が高い英語暗唱力を競いました。司会は勝浪梓さん(3菊)と加藤奈月美さん(3栗)。審査は外部審査員のMs. Ezra Liu, Mr. Jason Sommervilleと本校の佐藤泰正高等部教頭。

厳しい審査の結果、次の生徒(敬称略)が入賞し、水上茂中高一貫部校長から賞状と盾が授与されま

した。最後に、岩崎文音第40期生徒会副会長(1桃)の閉会の言葉で、激戦の余韻が残るコンテストの幕を閉じました。

【第1位】★1年＝鶴岡優菜(栗)★2年＝結城愛音来(桃)★3年＝吉田実桜(菊)

【第2位】★1年＝小田月(桃)★2年＝池澤梨緒(栗)★3年＝植野葵(桃)

【第3位】★1年＝鶴岡碧(桃)★2年＝嶋田弥奈(桃)★3年＝箕浦祐璃(栗)

【国友賞】結城愛音来(2桃)



入賞者を囲む関係者と出場者一同(写真撮影:スタジオトナミ)



入賞者や関係者、出場者一同(写真撮影:スタジオトナミ)



邦楽離子を披露する演奏者

EHAGAKIプロジェクト

新型コロナ禍で活動や海外へ



本学学生が送付した絵葉書の一部



ウズベキスタンの学生から届いた絵葉書

3年に一度、学生たちがエラスムス大陸の人々と文化交流を図る「新・文明の旅」プログラムは、今年度の実施を見送りましたが、履修希望者の学習意欲向上と海外大学との交流継続のための様々なプログラムを実施しています。

和楽器演奏会

第2回となる今回は、第1回の演奏者である尺八奏者の津上弘道氏がコーディネーターを務め、歌舞伎の伴奏で発展してきた邦楽離子を披露。藤倉昌近氏、望月左太助氏、藤倉雪丸氏、小鼓・大鼓・太鼓・篠笛・能管・あたり鉦とすずを曲目にこに組み合わせ、入場曲の他「水」と「まつり」の2曲を演奏。島田昌和理事長、櫻井隆学長をはじめとする教職員「新・文明の旅」フレグライダンスを受けた学部生12名、アメリカ人チューターなど総勢30名が和楽器の魅力を堪能しました。

邦楽離子の歴史や和楽器の材質・構造・演奏法についての説明もあり、終盤には、希望者14名が小鼓の演奏に挑戦。演奏指導を受けた後、約1分間の曲を絵を描いてオリジナリティを出すことで、新型コロナウイルスの

大学

「新・文明の旅」プログラム2つのプログラム実施

高校「キャリア甲子園」準決勝で大健闘

「キャリア甲子園2020」準決勝が2月14日にオンラインで開催され、本校から高2メンバー2チームが出場し、大健闘しました。

同大会は、高校生学年不問型ビジネスコンテストで、今回の大会テーマは、停滞している社会を突破するという意味が込められた「Breakthrough」。さらに、協賛企業からもテーマが出題され、生徒はチームで好きな企業テーマにエントリー。書類審査、プレゼン動画審査を経て準決勝へ進みました。

今回、全国から6,870名・2,009チームが参加。厳しい審査を通過した120チームからさらに絞り込まれた48チームに本校の2チームが選出され、次のメンバーが大健闘。残念ながら決勝戦への切符は逃しましたが、柔軟な若い感性溢れる以下の提案は素晴らしい内容でした。

●チーム「next stage」★藤組：大槻遥花(チームリーダー)、太田奏海、笠原比佳理★松組：池戸友彩

テーマ「after コロナ時代を見据え、日本の学生が旅に出たくなるような新しい旅行・宿泊業界の仕組みを提案せよ」(日本ユースホステル協会)

大槻「日本ユースホステル協会の企画を基に、女子中高生をターゲットにしたafterコロナ時代に旅行に行ける施設を考えました。これ

は、1カ月毎に、国・テーマ・コンセプトが変わる『地域体験』や『文化交流』を行う場と、『仮想旅行』『コンセプトレストラン』『宿泊施設』を組み合わせたものです。女子中高生が旅に出にくいという問題の解決とともに、どのようにすれば旅行者が増えるか、また、女子中高生が行きやすい費用でどのように利益が出るかを考えました」

●チーム「3 bit」★梅組：菅原麗乃(チームリーダー)、瀧澤きらら、塚田愛実

テーマ「安心して快適に暮らせる災害に強いまちづくりを目指し、自由な発想で新たなサービスを提案せよ」(東京電力)

菅原「私たちは『Co-Aphy(コーフィー)〜新感覚!次世代「共」給型SNSアプリ』を考案しました。それにあたり『信号無視』と『歩きスマホ』による事故に注目。その解決策として、AI×ARで「AIR」の名称の下で、TEPCOとLINEを提携させることにより、AIRトーク機能(危険お知らせ&トーク)や、信号待ち時にしかできないゲーム(赤信号になると通知する機能付き)、さらに、経営が苦しい中小企業や、個人店舗をターゲットにした地図機能(みつけマップ)を考えました。信頼性の高いデータを分析し、停滞した社会の「潤滑油」としての役割を持たせました」

「工夫した点は、ゼミナール協議会の中での『ボウ・レン・ソウ』がきちんとできるようなSNSに合ったこと。苦労した点は、参加する学生とのメールでの連絡です。学生はSNSでの連絡に慣れてしまっていてメールをなかなか見づらかったことです。また、良かった点は、外部講師の方や、職員の方々と『ボウ・レン・ソウ』が迅速にできたことです。課題は、早い段階で日程や当日の流れを決めることができなかったことです。参加者の皆様、運営にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます」

渡部吉昭ゼミナール

●加藤「今回のプレゼンコンテストから、私は多くのことを学びました。例えば、この活動の中で段取りを立てることに苦労しましたが、直接書き込めるカレンダーを用いてチーム内で常に共有したことで、優先順位を明確にでき、スケジュール管理能力を向上させることができました。また、チームワークの醍醐味を味わうことができました。段取りやチームで活動することの難しさを学生時代に体験できる機会はほとんどありません。日々の学生生活と両立しながらの活動はとても大変でしたが、この経験を私の成長の糧にしていきたいです」

●富岡「プレゼン大会において忘れがたいことは『人間関係』です。8カ月間のチーム活動、企業や

大学 全国学生英語プレゼンテーションコンテスト 外国語学部生3名「TOP50賞」入賞

「第9回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」(主催:神田外語グループ・読売新聞社)が11月28日、神田外語大学で開催され、外国語学部の学生3名が「TOP50賞」に入賞しました。同コンテストは、グローバル社会での活躍を期待される学生たちのスキルアップの場として開催され、英語表現力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の向上に取り組むことによる就業力の育成、大学間の親睦・交流を図ることを目的としています。

今回は、全国の大学生、大学院生、短期大学生、専門学校生など過去最高となる1,077名がエントリーし、263名が2次予選に進出しました。

外国語学部の渡部吉昭ゼミナール3年の加藤未来さんと富岡美波さんは「Learn & Laugh〜Money School for College Students〜」、甲斐田万智子ゼミナール3年の打木友賀さんは「Save the Animals, Save the Earth」をテーマにプレゼンテーションを行い、「TOP50賞」に入賞しました。なお、渡部ゼミナールは4年連続で同賞獲得となりました。3名からは次の喜びの声が届きました。



富岡さん(左)と加藤さん

初は上手くいかず悔しい思いもしましたが、幾度の失敗から『相手の言葉の意図を汲み取ること』『自分の足りない部分は人に頼ること』が重要だと学びました。『1人では不可能。けれど誰かとなら可能』という発見は、自分の中の常識を大きく覆してくれました」

甲斐田万智子ゼミナール

●打木「今回は『地球温暖化防止』について発表しました。プレゼン資料の作成と練習をする際には、一つひとつのスライドで何が言いたいのかを簡潔にまとめ、聞き手を常に意識するようにしました。慣れないオンラインでの発表には苦労しましたが、友人や先生がオンライン授業で発表する機会を提供してくれました。たくさん練習ができたお陰で、本番は良い緊張感をもって挑むことができました。協力してくださった皆さんに感謝しています。今後は就活が本格化していきますが、今回得たプレゼン力を発揮して臨みたいと思います!」



打木さん

高校「Webアニメコンテスト」2杉生徒が続々入賞!

「第18回 PEAS Web アニメコンテスト神戸」の審査結果が発表され、2年杉組の生徒がスポンサー賞の「株式会社リオ優秀作品賞(高校生賞)」と「だんぐら賞」に入選しました。

現在、本校ではスポーツ科学コースの2年杉組のみに選択科目「情報演習1」の授業があり、生徒たちはパソコン知識・技術の習得に励んでいます。そこでの学びがフルに活用され、今回の入賞に結びつけました。

入賞生徒と入賞作品、生徒の想いを紹介します。各作品は、Web アニメコンテスト「リオ賞」または「だんぐら賞」で検索して鑑賞できます。

「株式会社リオ優秀作品賞」

●C 049 「みんな一緒に」田口央奈

「この作品は『生まれ持ったものを個性として、自分自身も他人も受け入れられる世界がくればいいな』という思いで作りました。自分にはない個性を表すために、「にんじん」一人ひとりの見た目を変えました。また、勇気を振り絞る難しさや、何事も平等に見る大切さをにんじんに込めました。この作品を見て、少しでも温かい気持ちになっていただけたらうれしいです」

●C 048 「コロナで学んだこと!」木野知心乃

「新型コロナウイルスによって変わってしまった学校生活。はじめは、学校に行かない日々が楽しかったですが、後に課題の提出などがオンライン上であり『早く学校が始まってくれれば良いの!』と思うようになりました。その様子を学校の背景や家での生活などを使って表現しました。約1分間という短い動画ではありますが、伝えたいことがたくさん描かれています。ぜひ一度、ご覧ください!」

●C 043 「いざ! 鬼ヶ星(おにがほし)へ!!」及川暉月

経営学部生「課題解決プロジェクト」で上位入賞

マイナビ「MY FUTURE CAMPUS」主催の「課題解決プロジェクト 2020 season2」が昨年7〜11月に開催され、経営学部2年 国際経済学研究ゼミナール(担当教員:鈴木紫助教)の5名が2チームに分かれて参加し、1チームが上位5チームに入賞しました。前号に掲載した「アカウンティングコンペティション」W受賞に続く経営学部生の快挙です。

同プロジェクトは、大学・学生・企業のニーズをつなぐ基盤であり、企業から出された課題に生徒・学生自らが挑戦し、それを解決するまでの過程で知識を得ていく課題解決型学習です。5名は、グーグル合同会社が提供したテーマ「AIを活用し、あなたが関心のある社会課題の解決策を提案してください」に挑戦。前期のゼミ活動がすべてオンラインで、グループ活動が活気づきにくい中であっても、5名は5カ月という短期間で社会的なテーマについての的確な情報を収集・分析。論理的に考え抜く力をつけることを目標としてコンテストに備えました。

それにあたり、課題発表があった7月から、AIについての基礎知識、特にAIが機能するためのデータ取得、AIの活かし方などについて時間をかけて学習。実際に、現在AIが社会でどのように活用されているかという事例研究を5名協働で行い、9月には2チームに分かれて、1チームは「AIを使った高齢者の避難経路」(青木一真、小松純太)、もう1チームは「食品ロス解決をAI冷蔵庫で!」(松本将平、鈴木優、星野佑騎)をタイトルに、コンテストに臨みました。その結果、後者チーム「ユカリーズ 46」が優秀作品全20チームの内、上位5チーム入賞を果たしました。3名は、食品ロスのうち、家庭内食品ロスを減らす可能性を探り、冷蔵庫にAI機能を搭載して食品管理を行うという企画書を作成。食品の傷み具合を画像で取得し、傷み具合の早い食品を優先的に使って作れる料理レシピを提案する「AI 機能つき冷蔵庫」を提案しました。

審査員からは「どのように食品のデータを取得し、AIに処理させるのかを検討・提案した数少ないチームであったこと」「限りある時間の中で、大学生を対象とし、食品ロスに対する意識調査とAI機能つき冷蔵庫に対する興味についてのアンケートを実施したこと」が高く評価されました。

「ユカリーズ 46」のメンバーからは、次のコメントが寄せられました。●松本「オンラインならではの難しさもありましたが、グループワークの面白さや難しさ、人と意見を交換することの重要性や楽しさ等、多くのことを学べたと感じています」●鈴木「チーム内の連携も良く、積極的に作業を行うことが大切だなと実感しました」●星野「今回のグループワークで連携作業の大切さを学べました」



左から星野さん、松本さん、鈴木さん

「だんぐら賞」

●C 037 「宇宙人のお散歩」會田楓花

「主人公の宇宙人は、ある日散歩に行き、たくさんの動物と出会い、感情により体の色が変化します。『人間もこの宇宙人のように気持ちを隠さず素直に表せたらいいのになあ』という思いがこの作品を作りました。今回はこのような賞をいただけてうれしかったです。パソコン操作は初めてでしたので、最初は授業が心配でしたが、未知の技術を体得できて、今はとても楽しく学んでいます!」

現3年杉組の吉田唯香さんも、2年次に2019年の「だんぐら賞」に入賞。コロナ禍で表彰が遅れたことから、ここに紹介します。吉田さんの作品は「Web アニメコンテスト 2019 だんぐら賞」で鑑賞できます。

●C 050 「海旅」吉田唯香

「作成したアニメは8割が海中だったので、海面に反射する日光のキラキラ感や、泡の感じをどうすれば表現できるかをずっと考えていました。しかし、授業時間も限られているので、話を完結させることと、そこにどこまでこだわることが出来るかが自分の中で課題でした。改めてアニメを見ると少し恥ずかしいですが、賞をいただいたことはとてもうれしいです。『情報演習1』の授業は、とても楽しく学べました」



左から吉田さん、會田さん

大学 人間学部生が「文京まちあるき」MAP3種を制作

人間学部コミュニケーション社会学科では、昨年「まちあるきプロジェクト演習」の一環として「文京まちあるきコースづくりプロジェクト」を実施。同学科の3年生14名が、文京区内の文化遺産や店舗などを多角的に調査しながら歩き、オリジナルMAPを3種制作しました。

今回のプロジェクトを実施するにあたり、学生指導にあたった同学科の貴井万里准教授が、授業で学生にアンケートを取り、「カフェ」「聖地・植物」「いきちよん」の3コースを決定。前期、学生たちはwebや本を参考に紹介文を書き、後期には現地を訪れ、撮

写真撮影が許可された場所をMAPに載せることを決めました。

3コースの内容と、各コースで活動した学生は次のとおりです(敬称略)。

●**カフェコース**(本学学生)

文京区を訪れる人々の憩いの場所となるようなカフェを紹介し、海老原優花、神嶋亮平、中豊留昌、正木凜、写真撮影が許可された場所

●**いきちよんコース**(い

きちよん)とは、江戸時代の庶民の間で使われていた言葉で「少し粋な」という意味。江戸・明治時代の文京区の歴史をテーマとし、文京区にある

神社仏閣や博物館、森鷗外や樋口一葉など文豪ゆかりの地を特集。英語併記あり)石橋学也、小船

屋会理、田中皓也、舟窪真央

活動を振り返り、貴井准教授は次のように成果を感じています。

「コロナ禍で現地のフィールドワークができない中で情報を収集し、オンラインでの意見交換によりプロジェクトを進める苦労がありました。オンラインでもかなりのことができたことがわかりました。学生たちは、コロナ禍でも創意工夫してあきらめずに最後までプロジェクトをやり抜くことがわかりました。学生

たちは、コロナ禍でも創意工夫してあきらめずに最後までプロジェクトをやり抜くことがわかりました。学生たちは、コロナ禍でも創意工夫してあきらめずに最後までプロジェクトをやり抜くことがわかりました。学生

たちは、コロナ禍でも創意工夫してあきらめずに最後までプロジェクトをやり抜くことがわかりました。学生たちは、コロナ禍でも創意工夫してあきらめずに最後までプロジェクトをやり抜くことがわかりました。学生

たちは、コロナ禍でも創意工夫してあきらめずに最後までプロジェクトをやり抜くことがわかりました。学生たちは、コロナ禍でも創意工夫してあきらめずに最後までプロジェクトをやり抜くことがわかりました。学生

いきちよんコースMAP

聖地・植物コースMAP

カフェコースMAP



数1500部。

同論文は、日本と中国の連携共同研究である点、学

生たちが精魂込めて作り上げたMAPは、1月7日から本郷キャンパス「まちあるき」及び許可を得た掲載先で配布され、地域活性化推進ツールとして期待されています(配布

賞を受賞しました。

同賞は、社会言語科学会誌「社会言語科学」に掲載された論文の中から、毎年とくに優れた論文に授与されるものです。

同論文は、日本と中国の連携共同研究である点、学

生たちが精魂込めて作り上げたMAPは、1月7日から本郷キャンパス「まちあるき」及び許可を得た掲載先で配布され、地域活性化推進ツールとして期待されています(配布

大学 新井准教授「徳川宗賢賞」優秀賞受賞



新井准教授

外国語学部の新井保裕准教授が、社会言語科学会の「第20回徳川宗賢賞」にて、「中国朝鮮族言語使用・意識の多様性に関する研究」(朝鮮族学校のアンケート調査※)を発表し、優秀賞を受賞しました。

同賞は、社会言語科学会誌「社会言語科学」に掲載された論文の中から、毎年とくに優れた論文に授与されるものです。

同論文は、日本と中国の連携共同研究である点、学

生たちが精魂込めて作り上げたMAPは、1月7日から本郷キャンパス「まちあるき」及び許可を得た掲載先で配布され、地域活性化推進ツールとして期待されています(配布

賞を受賞しました。

同賞は、社会言語科学会誌「社会言語科学」に掲載された論文の中から、毎年とくに優れた論文に授与されるものです。

新井准教授「徳川宗賢賞」優秀賞受賞

中国語も学び始めました。

一見、拡散しているような関心事が実は一つに繋がっており、中国の先生方との共同研究にいたっています。今後も発展的な第二外国語教育研究、学際性・国際性を重視した教育研究を本学外国語学部で続けていきますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

なお、本件に関する授賞式は、2021年3月13日(土)にオンライン開催となる学会にて行われます。

※共同研究者 新井保裕(文京学院大学)・生越直樹(東京大学)・孫蓮花(大連理工大学)・李東哲(新羅大学)

大学 新曲MVを経営学部公野ゼミ生が制作

経営学部の公野勉教授によるコンテンツ実務研究ゼミナールがアイドルアーティスト団体のニューシングル「陽炎(かげろう)」のMVを制作しました。

今回のMVは、ゼミ活動初年次となる2年生13名が中心となり担当しました。映像制作にあたっては、2020年に戦艦進水120周年を迎えた世界三大記念艦「三笠」をロケ地として企画し、アーティストとのコラボレーションの実現に向けて、公益財団

法人三笠保存会へ戦艦三笠での撮影協力の交渉を行いました。

学生は、今回のMVの監督を務めた公野研究室OBで本学大学院修了生である玉川隆昭氏(映像制作会社勤務)より、事前にリモート等で機材の使用手法や撮影技法の実務指導を受け、撮影に必要な指示書等を作成しました。三笠保存会の協力の下、リモートによる綿密な事前調査と撮影現場確認を行い、撮影当日はコロナ感染予防を徹底して万

全の体制で撮影に臨み、4分41秒のMVを完成させました。公野ゼミ生からは次のコメントが届けました。「コロナ禍の活動は、不安や心配もありましたが、1年間何も活動できていないことへの不安も大きく、公野ゼミ生としてコンテンツ系のプロジェクトに参加できることは貴重な機会と

判断しました。MV撮影には、多くの人が関わっていることを知り、チーム力の大切さをこのプロジェクトで学びました。今後も、コンテンツに関する活動や学問を積極的に学んでいきたいです」

学生が制作したMVは、2021年1月1日からYouTube上で公開されています。



戦艦「三笠」でMV撮影中の様子

新書コーナー

★『アフリカにおけるジェンダーと開発—女性の収入向上支援と世帯内意思決定』著者:甲斐田きよみ(外国語学部准教授)／春風社(2020年9月)／4,300円(税別)

開発援助が対象とする「世帯」とは何か?いかにして女性のエンパワーメントを促すのか?

甲斐田准教授が関わったナイジェリア北部イスラム圏の伝統を实践するハウサ社会での活動を事例に、ジェンダー役割が不均衡な世帯における意思決定の諸相を分析し、開発援助の可能性を考察する。

